

科目名	人間と倫理Ⅱ	担当講師	熊 智子（看護師）	
開講年次	3年生前期	単位数	1単位	
授業形態	講義・演習	時間数	15時間	
学習目的	医療職として、看護専門職業人として、倫理的に判断する能力を身につける。			
学習目標				
授業計画	回数	授業計画		備考（準備・予習・復習など）
	第1回	熊 智子	1. 看護倫理 専門職の倫理 倫理問題へのアプローチ 看護研究の倫理 事例分析 等	身の回りの日々の出来事、 ニュースすべてが倫理を考える 材料です。よく見て、よく聴いて、 よく考え、判断して行動し、 間違えたら修正して向上し ましょう！
	第2回			
	第3回			
	第4回			
	第5回			
	第6回			
	第7回			
成績評価方法	終講試験において100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。 受講態度、ワークシート記入状況については参考とします。			
教科書	系統看護学講座 別巻 看護倫理（医学書院）			
参考図書	医学書院 看護倫理 見ているものが違うから起こること			
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)	倫理は実践です。生き方の根拠です。			

科目名	社会福祉Ⅱ	担当講師	末永浩二（社会福祉士）
開講年次	3年生前期	単位数	1単位
授業形態	講義	時間数	15時間（試験1時間を含む）
学習目的	人間が幸福で健康的かつ文化的な生活を実現する為、生活の維持向上に向け、社会福祉・社会保障という制度は重要な意味をもつ。看護の健康問題に関わることから、問題解決の為の社会資源・制度について理解した上で、看護活動へ活用する為の、基礎知識を学ぶ。		
学習目標	社会資源と医療保障の関連について学び、保健・医療・福祉の協働の意義を知り、看護の役割が理解できる。更に、介護保健の仕組みが理解できる。		
授業計画	回数	授業計画	備考（準備・予習・復習など）
	第1回	到達目標：高齢者福祉について、実態と課題を知る。また、施策について、介護保険施策と併せて総合的に理解する。 内容：社会福祉の分野とサービス（高齢者福祉）	
	第2回	到達目標：障がい者福祉について、実態と課題を知り、施策について理解する。 内容：社会福祉の分野とサービス①（障害者福祉）	
	第3回	到達目標：障がい者福祉について、実態と課題を知り、施策について理解する。 内容：社会福祉の分野とサービス②（障害者福祉）	
	第4回	到達目標：児童家庭福祉について、その実態と課題を知り、それに対する施策を理解する。 内容：社会福祉の分野とサービス（児童家庭福祉）	
	第5回	到達目標：援助について学ぶ。医療現場、地域社会など多様な現場で展開される社会福祉実践の共通基盤として、援助が必要な場面、援助の方法について理解する。 内容：社会福祉の実践と医療・看護（援助技術）	
	第6回	到達目標：医療・看護と社会福祉の関連を学び、職種間での連携の重要性を理解する。 内容：社会福祉の実践と医療・看護（援助技術）	
第7回	到達目標：職種間連携において、それぞれの役割を活かした援助ができるように具体的な連携方法について理解する。 内容：我が国と諸外国の社会福祉の歴史を学び、時代の社会情勢と生活上の問題を福祉の理念と関連付け理解する。 内容：社会福祉の実践と医療・看護（連携）、社会福祉の歴史		
成績評価方法	終講試験において100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。		
教科書	専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度3（医学書院）		
参考図書			
関連科目	全ての専門科目に通じる		
備考 (学生へのメッセージ)			

科目	関係法規Ⅱ	担当講師	熊谷久美（保健師） 南智美（看護師）
開講年次	3年生前期	単位数	1単位
授業形態	講義	時間数	15時間（試験1時間を含む）
学習目的	国民として健康な生活を維持する為に必要な法の理解と、看護業務に携わる生活の支援や業務に関する法を学ぶ。		
学習目標	1. 我が国の保健医療制度、福祉、労働に関する法制度の仕組みが理解できる。		
授業計画	回数	授業計画	備考（準備・予習・復習など）
	第1回	目標：保健衛生法について理解できる。	(熊谷講師)
		内容：共通保健法	
	第2回	目標：保健衛生法について理解できる。	(熊谷講師)
		内容：分野別保健法：精神、母子、学校	
	第3回	目標：保健衛生法について理解できる。	(熊谷講師)
		内容：分野別保健法：個別対策法、感染症に関する法	
	第4回	目標：社会保険法及び福祉法について理解できる。	(熊谷講師)
内容：医療・介護の費用保障、年金、福祉の基盤に係る法律、児童分野に係る法律、高齢分野に係る法律、障害分野に係る法律、手当			
第5回	目標：社会保険法及び福祉法について理解できる。	(熊谷講師)	
	内容：医療・介護の費用保障、年金、福祉の基盤に係る法律、児童分野に係る法律、高齢分野に係る法律、障害分野に係る法律、手当		
第6回	目標：労働法と社会基盤整備について理解できる。	(南教員)	
	内容：労働法、社会基盤整備など		
第7回	目標：環境法について理解できる。	(南教員)	
	内容：環境保全の基本法、公害防止の法、自然保護法		
成績評価方法	終講試験において100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。 内訳：熊谷講師80点、南教員20点		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度（医学書院）		
参考図書			
関連科目			
備考 (学生へのメッセージ)			

科目名	精神看護学方法論Ⅱ	担当講師	松本芙美子（看護師）
開講年次	3年生前期	単位数	1単位
授業形態	講義	時間数	15時間
学習目的	精神に障害を持つ対象及び家族への援助を学ぶ。		
学習目標	1. 精神障害を持つ人と「患者-看護師」関係の構築について理解する。 2. プロセスレコードの意義及び活用方法について理解できる。 3. 精神に障害を持つ対象及び家族に対する看護過程の展開方法が理解できる。		
授業計画	回数	授業計画	備考 (準備・予習・復習など)
	第1回	松本芙美子	1. 精神障害を持つ人との「患者-看護師」関係の構築
	第2回		1) 精神障害をもつ人との関わり方
	第3回		2) 精神障害をもつ人とのコミュニケーション
	第4回		3) 精神障害をもつ人との関係の振り返り
	第5回		プロセスレコードの意義と活用方法
	第6回		看護過程の展開（統合失調症）
	第7回		看護過程の展開（統合失調症）
成績評価方法	終講試験において100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。		
教科書	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 医学書院		
参考図書			
関連科目			
備考 (学生へのメッセージ)			

科目名	地域・在宅看護論方法論 1		担当講師	南智美（看護師）
開講年次	3 年生前期		単位数	1 単位
授業形態	講義		時間数	15 時間
学習目的	看護の対象を理解し、看護の基盤となる予防活動と家族への看護を学ぶ。			
学習目標	1. 地域で暮らすマネジメントを理解できる。 2. 地域包括ケアシステムにおける看護の役割を理解できる。			
授業計画	回数	担当教員	授業計画	備考（準備・予習・復習など）
	第 1 回	南智美	地域・在宅看護における看護過程	
	第 2 回		地域・在宅看護に展開方法	
	第 3 回		地域在宅看護の看護過程の看護目標設定と計画	
	第 4 回		地域・在宅看護の実施と評価	
	第 5 回		地域・在宅看護をする心構え	
	第 6 回		コミュニケーション・家族の支援	
	第 7 回		安全対策	
成績評価方法	終講試験において100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。			
教科書	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院			
参考図書				
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)				

科目名	地域・在宅看護論方法論Ⅱ	担当講師	山野英子（看護師） 南智美（看護師）	
開講年次	3年生前期	単位数	1単位	
授業形態	講義	時間数	20時間	
学習目的	地域・在宅看護における健康障害に対する看護を学ぶ。			
学習目標	1. エンド・オブ・ライフケアを受ける療養者と家族を理解できる。 2. 難病療養者と家族を理解できる。 3. 慢性疾患療養者を支えるケアシステムを理解する。			
授業計画	回数	担当教員	授業計画	備考（準備・予習・復習など）
	第1回	山野英子	■在宅療養準備期（退院前）の看護（P234） ■在宅療養移行期の看護 ■在宅療養安定期の看護	
	第2回		■急性増悪期の看護 ■終末期の看護（グリーフケアを含む） ■在宅療養終了期の看護	
	第3回		難病療養者と家族への看護 ■ALS療養者の看護	
	第4回		がん終末期の療養者の看護	
	第5回	南智美	脳卒中の療養者への看護	
	第6回		COPDの療養者の看護	
	第7回		パーキンソン病療養者の看護	
	第8回		地域・在宅看護における多職種連携	
	第9回		地域・在宅看護のマネジメント	
第10回				
成績評価方法	終講試験において100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。 内訳：山野講師（50点）・南教員（50点）			
教科書	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院			
参考図書				
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)				

科目名	地域・在宅看護論方法論Ⅲ	担当講師	安藤美穂子（看護師） 渡邊努（看護師） 南智美（看護師）	
開講年次	3年生前期	単位数	1単位	
授業形態	講義	時間数	45時間	
学習目的	地域で生活する人々と、その家族の看護について理解できる。			
学習目標	1. 日常生活や生活を捉えた支援を理解できる。 2. 認知症療養者と家族の支援を理解できる。 3. フレイルな高齢者の特徴と介護予防について理解できる。 4. 精神障がい者を支える支援を理解できる。 5. 医療的ケア児への支援を理解できる。 6. 訪問看護技術を理解できる。			
授業計画	回数	担当教員	授業計画	備考（準備・予習・復習など）
	第1回	安藤美穂子	食生活・嚥下に関する地域・在宅看護技術 ■食生活の特徴 ■食事に関するアセスメント ■経口摂取の援助	
	第2回		■経管栄養法を受ける療養者	
	第3回		■HPNを受ける療養者の援助	
	第4回	渡邊努	統合失調症の療養者への看護	
	第5回			
	第6回		認知症の療養者への看護	
	第7回			
	第8回	南智美	排泄ケア	
	第9回			
	第10回		移動の援助	
	第11回			
	第12回		創傷管理に関する看護	
	第13回			
	第14回		清潔・衣生活に関する看護	
	第15回			
	第16回		在宅での服薬管理	
	第17回		小児在宅ケア 1) 小児在宅ケアの動向	
	第18回		医療ケア	
	第19回		訪問看護シミュレーション 1) 訪問看護の場面 2) 訪問看護における医療保険の調整 3) 在宅看護過程	
	第20回			
	第21回			
第22回				
成績評価方法	終講試験において100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。 内訳：安藤講師（20点）、渡邊講師（40点）、南教員（40点）			
教科書	系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院			
参考図書				
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)				

科目名	災害看護		担当講師	酒井昌博（医師） 弓掛良一（看護師） 植田聡子（看護師）
開講年次	3年生前期・後期		単位数	1単位
授業形態	講義		時間数	30時間
学習目的	災害が社会の変化や地域の人々の暮らしと密接に関係しながら、人々の生命や生活に影響を及ぼすことを理解し、さらに社会における看護の役割を果たすために必要な災害各期の看護活動を学ぶ。			
学習目標	1. 災害看護の概念と知識、技術について理解できる 2. 救急看護の概念と知識、技術について理解し身につける 3. 地域及び国内外における災害対策と実際を理解できる			
授業計画	回数	担当	授業計画	備考（準備・予習・復習など）
	第1回	弓掛良一	第2章 <ul style="list-style-type: none"> <li>災害に関する法と制度</li> <li>災害時の医療体制</li> <li>災害各期の特徴</li> <li>支援者の身体反応と心理課程</li> </ul>	
	第2回			
	第3回			
	第4回		第2章 <ul style="list-style-type: none"> <li>CSCATTT</li> <li>トリアージについて</li> <li>災害看護の倫理課題</li> </ul>	
	第5回		第2章 <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に生じやすい健康被害の特徴</li> <li>災害各期の要支援者を含むすべての被災者への看護</li> </ul>	
	第6回			
	第7回		第2章 <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時に生じやすい健康被害の特徴</li> <li>災害各期の要支援者を含むすべての被災者への看護</li> </ul>	
	第8回			
	第9回			
	第10回	酒井昌博	災害が人々の生命や生活に及ぼす影響 <ul style="list-style-type: none"> <li>災害時のアセスメント</li> <li>災害種類別疾患の特徴</li> <li>災害時の心理</li> </ul>	講義・グループワーク
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回	植田聡子	災害時に看護が果たす役割、災害各期における看護支援活動	
第15回				
成績評価方法	終講試験において100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。 内訳：弓掛講師（60点）、酒井講師（30点）、植田教員（10点）			
教科書	系統看護学講座 統合分野 災害看護・国際看護学 医学書院			
参考図書				
関連科目				
備考 <small>（学生へのメッセージ）</small>				

科目名	看護管理	担当講師	熊 智子 (看護師 (看護管理者の経験))
開講年次	3年生前期	単位数	1単位
授業形態	講義・演習	時間数	15時間
学習目的	看護管理は、良質の看護を提供するために機能することを理解し、看護管理の基本を学び、情勢に応じた課題を考える。		
学習目標	1. 看護管理の基本的概念が理解できる。 2. 看護管理の原則と基礎が理解できる。 3. 看護管理についての今日的課題を考えることができる。		
授業計画	回数	授業計画	備考(準備・予習・復習など)
	第1回	1. 看護管理とは  2. 看護管理の原則と基礎 1) 看護管理の目的・システム・看護管理課程 組織の形とシステム 2) 病院における看護管理 ・人事労務管理 ・業務管理 ・物品管理 ・管理に必要な知識と技術 ・リーダーシップ ・コミュニケーション (アサーティブネス) ・動機づけ  3. 看護管理の今日的課題 1) 医療機関の分化と連携 2) 安全管理の総合的推進	
	第2回		
	第3回		
	第4回		
	第5回		
	第6回		
	第7回		
成績評価方法	終講試験 (ペーパーテスト) において100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。		
教科書	系統看護学講座 統合分野 看護管理 医学書院		
参考図書	ナーシンググラフィカ「看護管理」、医療現場のお金の話		
関連科目			
備考 (学生へのメッセージ)	統合実習での事前学習として学んでください。		

科目名	国際看護	担当講師	上村美和（看護師）	
開講年次	3年生前期	単位数	1単位	
授業形態	講義	時間数	15時間	
学習目的	国際社会における様々な看護問題を理解し、国際的な看護活動について学ぶ。			
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際社会における様々な看護問題が理解できる。</li> <li>2. 国際的な看護活動の実際を知る。</li> <li>3. 世界における看護職の役割について理解できる。</li> <li>4. 在日外国人、訪日外国人の看護について知る。</li> </ol>			
授業計画	回数	担当講師	授業計画	備考（準備・予習・復習など）
	第1回	上村美和	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 諸外国の看護の現状と課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦後の国際社会</li> <li>・共存に向けた国際協力</li> </ul> </li> </ol>	
	第2回	上村美和	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 国際協力の組織と活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際看護活動が扱う範囲</li> <li>・海外における看護活動</li> <li>・国内の在日外国人への看護活動</li> </ul> </li> </ol>	
	第3回	上村美和	<ol style="list-style-type: none"> <li>3. 国際社会における保健医療福祉の実情・保健医療分野における国際機関 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国として国際協力</li> <li>・国際看護活動を推進する人々</li> <li>・国内外のNGOによる国際協力活動</li> </ul> </li> </ol>	
	第4回	上村美和		
	第5回	上村美和		
	第6回	上村美和		
	第7回	上村美和	海外青年協力隊による講話	講話
成績評価方法	終講試験において100点を満点とし、60点以上を合格とし評価します。			
教科書	系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護 医学書院			
参考図書				
関連科目				
備考 (学生へのメッセージ)				